



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)8591  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,077	16.4	2,152	△14.7	2,171	△17.0	1,805	△3.3
2019年3月期第3四半期	15,528	1.8	2,522	△23.6	2,616	△21.8	1,867	△24.8

(注) 包括利益2020年3月期第3四半期 1,707百万円 (△14.8%) 2019年3月期第3四半期 2,005百万円 (△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	58.60	58.24
2019年3月期第3四半期	60.66	60.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	45,693	31,779	67.9
2019年3月期	42,516	30,874	71.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 31,005百万円 2019年3月期 30,249百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,400	14.0	5,140	3.5	5,150	1.6	4,080	9.8	132.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	32,421,577株	2019年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,594,332株	2019年3月期	1,622,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	30,818,165株	2019年3月期3Q	30,780,291株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の概況は次のとおりであります。

営業面におきましては、主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」は、販売数量の増加により売上高は伸長し96億6百万円（前年同期比5億55百万円増）となりました。また、再生医療等製品「テムセル®HS注」につきましても順調に売上高が伸長し、23億47百万円（前年同期比7億93百万円増）、一昨年11月に発売したファブリー病治療薬「アガルシダーゼベータBS点滴静注JCR」につきましては2億13百万円の売上高を計上しました。さらに、キッセイ薬品工業株式会社と共同開発を行ってまいりました、持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファBS注「JCR」の販売を昨年11月に開始し、6億49百万円の売上を計上しました。遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポエチンアルファBS注JCR」の売上高31億41百万円（前年同期比3億21百万円減）と合わせた腎性貧血治療薬合計の売上高は、37億91百万円（前年同期比3億28百万円増）となりました。加えて、契約金収入につきましては10億2百万円（前年同期比53百万円減）となり、当社グループ全体の売上高は180億77百万円（前年同期比25億49百万円増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増収に伴い売上総利益が121億87百万円（前年同期比12億67百万円増）となりましたが、積極的な研究開発活動に伴い研究開発費が前年同期比で14億12百万円増加して43億85百万円となったことにより、営業利益は21億52百万円（前年同期比3億70百万円減）、経常利益は21億71百万円（前年同期比4億45百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億5百万円（前年同期比61百万円減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における増収減益は、当初予想どおりの傾向です。

研究開発の状況は次のとおりです。

#### [ライソゾーム病治療薬]

現在重点的に取り組んでいるライソゾーム病治療薬の開発では、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した画期的な新薬の開発をおこなっております。特に、血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-141）については、一昨年6月よりブラジル連邦共和国で臨床第2相試験、一昨年8月から日本で臨床第3相試験をそれぞれ開始し、臨床試験はいずれも順調に進捗しました。その他の地域では一昨年10月に米国食品医薬局（FDA）、昨年2月に欧州医薬品庁（EMA）よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けるなど、グローバル展開へ着々と準備を進めております。これに続いて、ボンペ病治療酵素製剤（開発番号：JR-162）、ハーラー症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-171）、サンフィリップ症候群A型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）といったライソゾーム病治療薬の研究開発を順次おこない、これらの新薬についても、グローバル展開を推進してまいります。

#### [細胞・再生医療]

細胞・再生医療分野では、他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた、急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161/JR-161）の共同開発契約および実施許諾契約を2017年7月に帝人株式会社と締結し、昨年2月から臨床第1/2相試験にて患者投与を開始しております。さらに、昨年7月から新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）への「テムセル®HS注」の新たな適応拡大として臨床第1/2相試験を開始しております。

#### [成長ホルモン製剤]

一昨年7月から成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」の効能追加としてSHOX異常症患者に対する臨床第3相試験を、また、昨年5月からは遺伝子組換え持続型成長ホルモン製剤（開発番号JR-142）の臨床第1相試験を開始しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は456億93百万円（前連結会計年度末比31億76百万円増）、負債合計は139億14百万円（前連結会計年度末比22億71百万円増）、純資産合計は317億79百万円（前連結会計年度末比9億5百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少して272億46百万円となりました。固定資産につきましては、研究関連施設の増強などにより有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ32億99百万円増加して184億46百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5億54百万円増加して92億39百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ17億16百万円増加して46億74百万円となりました。なお、これらの借入金の増加は、研究関連施設の増強などに伴うものであります。

純資産につきましては、配当金の支払いの一方で親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べ9億5百万円増加して317億79百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.2ポイント低下して67.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想に関しましては、2019年10月31日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,836	7,637
受取手形及び売掛金	8,835	8,781
有価証券	661	657
商品及び製品	2,281	1,405
仕掛品	1,473	2,563
原材料及び貯蔵品	5,363	5,507
その他	917	693
流動資産合計	27,368	27,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,475	4,363
土地	3,882	5,664
建設仮勘定	851	2,020
その他(純額)	1,852	1,832
有形固定資産合計	11,061	13,880
無形固定資産	110	274
投資その他の資産		
投資有価証券	2,941	2,530
その他	1,059	1,784
貸倒引当金	△24	△23
投資その他の資産合計	3,975	4,291
固定資産合計	15,147	18,446
資産合計	42,516	45,693
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586	835
短期借入金	3,630	4,980
未払法人税等	801	87
賞与引当金	666	347
役員賞与引当金	77	58
その他	2,922	2,930
流動負債合計	8,684	9,239
固定負債		
長期借入金	1,850	3,700
債務保証損失引当金	240	116
退職給付に係る負債	710	729
その他	157	128
固定負債合計	2,957	4,674
負債合計	11,642	13,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,922	10,890
利益剰余金	13,350	14,167
自己株式	△3,937	△3,869
株主資本合計	29,397	30,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	773	661
為替換算調整勘定	149	112
退職給付に係る調整累計額	△71	△18
その他の包括利益累計額合計	851	755
新株予約権	435	585
非支配株主持分	189	188
純資産合計	30,874	31,779
負債純資産合計	42,516	45,693

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	15,528	18,077
売上原価	4,607	5,889
売上総利益	10,920	12,187
販売費及び一般管理費	8,397	10,035
営業利益	2,522	2,152
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	25	25
為替差益	32	—
受取保険金	39	—
保険配当金	13	14
その他	8	15
営業外収益合計	134	68
営業外費用		
支払利息	16	16
有価証券償還損	19	—
為替差損	—	23
その他	4	9
営業外費用合計	40	49
経常利益	2,616	2,171
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	66	123
その他	6	—
特別利益合計	72	123
特別損失		
固定資産処分損	37	2
自主回収関連損失	178	—
その他	2	—
特別損失合計	218	2
税金等調整前四半期純利益	2,471	2,292
法人税、住民税及び事業税	539	624
法人税等調整額	72	△141
法人税等合計	612	483
四半期純利益	1,859	1,809
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,867	1,805

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,859	1,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	△112
為替換算調整勘定	14	△42
退職給付に係る調整額	16	52
その他の包括利益合計	145	△101
四半期包括利益	2,005	1,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,999	1,709
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。